

千葉県農協青年部協議会 ポリシーブック2019

～若手農業者における行動目標と政策提言～



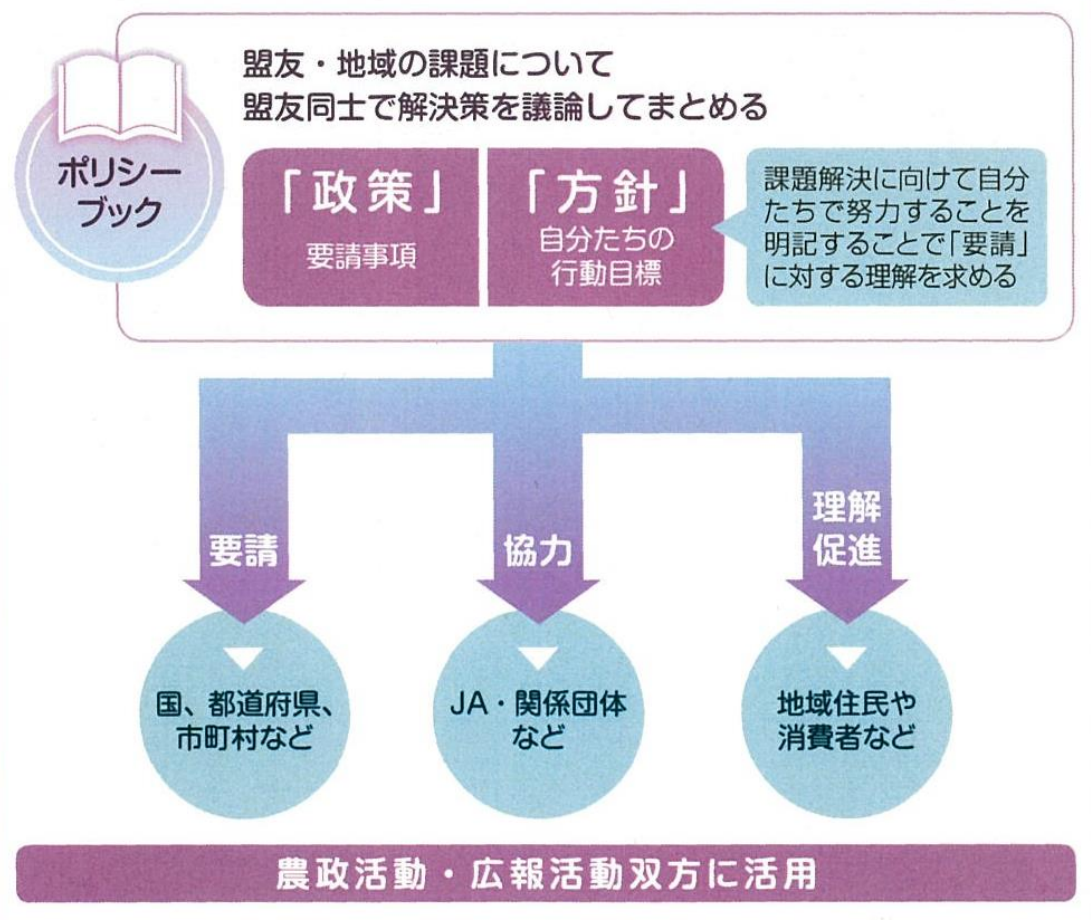
ポリシーブックとは？

JA全青協では、平成23年度より「ポリシーブック」の作成を開始しました。ポリシーブックを一言で表すと「JA青年部の政策・方針集」となりますが、その作成にあたっては現在の政策を出発点とするのではなく、JA青年部の盟友一人ひとりが営農や地域活動をしていくうえで抱えている課題や疑問点について、盟友同士で解決策を検討してとりまとめている点の特徴です。

また、そこには政策として要請することだけでなく、まず自分たちで解決に向けて努力し、取り組むことが明記されています。つまり、「自分たちの行動目標」と「積み上げによる政策提案」の両方を備えたものがJA青年部の「ポリシーブック」となります。

JA全青協では平成22年度に北海道で先行取り組みを行い、平成23年度より全国的に「ポリシーブック」の作成に着手しています。平成24年度には、ポリシーブックの先進地である米国視察を行い、さらなる取り組みの強化に向けて全国の若手農業者が一体となって努力しています。

ポリシーブックの概要



■ 行動目標としてのポリシーブック

ポリシーブックには、課題の解決策を政策として提言するだけでなく、まず自分たちで解決に向けて取り組むことを明記しています。

農業に関する要請を行うと、「また、農業団体が補助金欲しさに要請活動をしてるぞ」などといういわれなき批判をされることがしばしばありますが、課題解決に向けてまず自分たちが努力をしていくことで、わが国の責任ある農業者として、地域住民や消費者なども含めた幅広い関係者に理解を求めていきます。

■ 政策提案としてのポリシーブック

食料・農業・地域社会をとりまく状況が日々変わるなか、農業経営に大きく関わる課題について、与野党を二分するような議論となることが今後も想定されます。そうしたなかで、われわれ若手農業者の思いを対話を通じて伝えていくという、議員への働きかけによる農政運動の取り組みがより重要となります。

将来の日本農業を担う若手農業者が安定した農業経営を行うためには、農業政策の基本となる部分が制度的に安定していることが重要であり、政争の具とされることが、あってはなりません。

そのためには、農業者の立場から農業政策について自らの考えを持ち、全国の現場の声を積み上げ、その政策を支持する国会議員を応援していくことが、長期的な視点で農業政策に自分たちの意見を反映させ、かつ安定した制度を築くために必要な取り組みと考えています。

ポリシーブックの取り組みの流れ

▶ Plan

議論を深め、課題を共有しよう

- 自分たちの想いはどこにあるのか

▶ Do

計画を実行しよう

- 自分たちで行うと決めたことを確実に行うことが地域からの信頼を得るための条件
- 要請を各方面に行い、JA青年部の政策を実現してくれる味方を多く作る

▶ Check

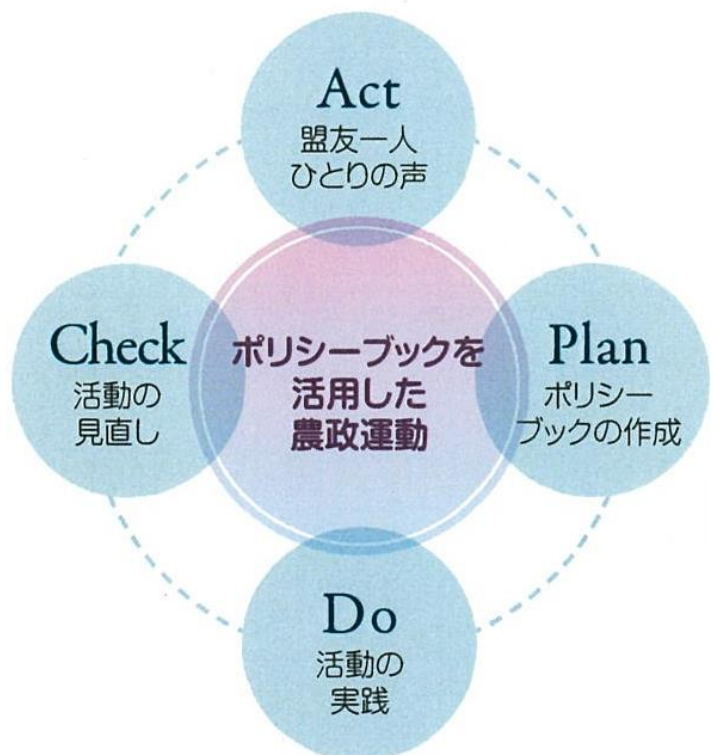
確認をしなければ進歩はしない

- 自分たちで行ったことが、当初の目的を達成できているか確認しよう
- 要請した内容が反映されているか確認をしよう

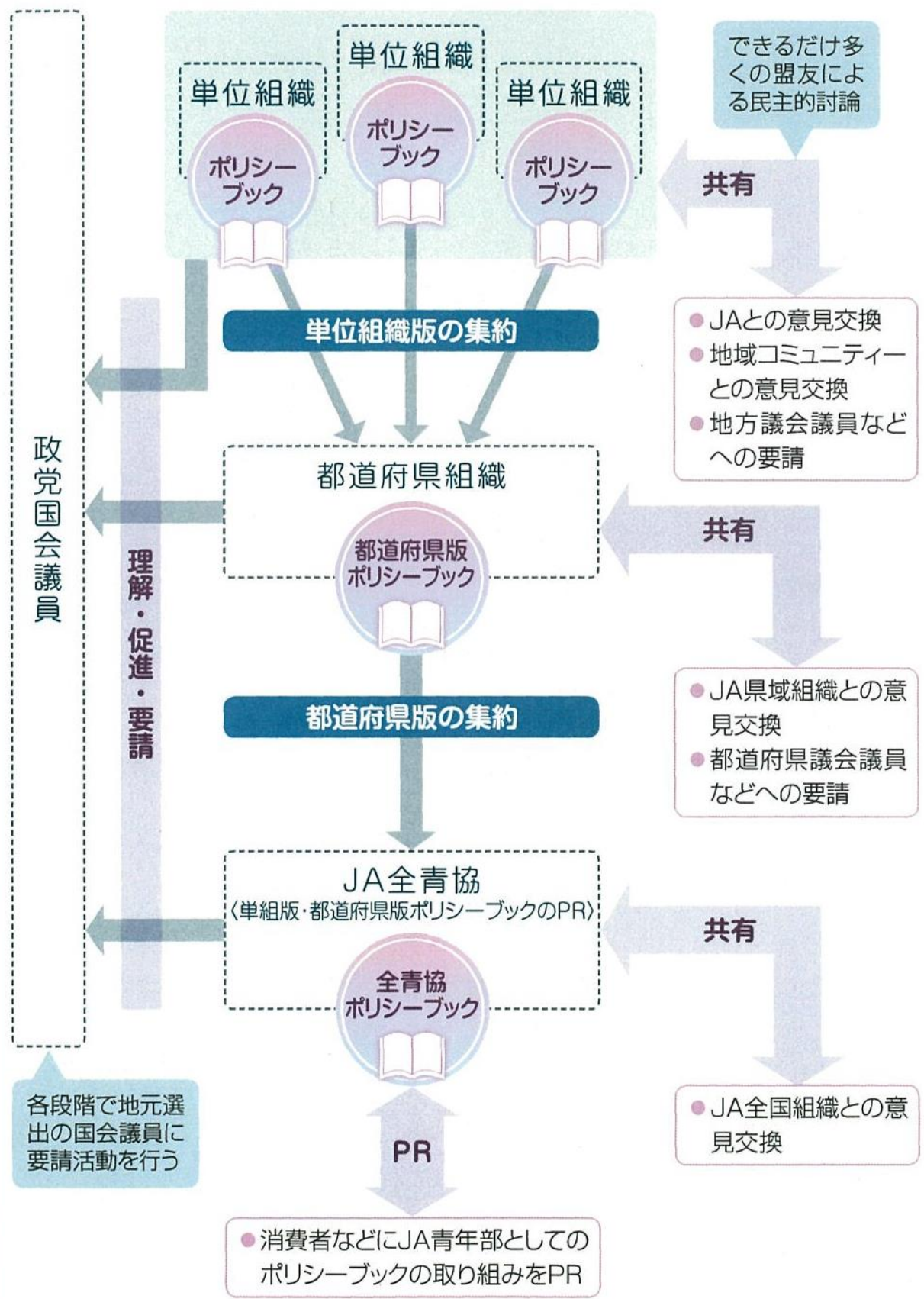
▶ Act

随時活動を見直そう

- 活動を行いながら必要な修正を随時行おう
- 大きな修正は翌年のポリシーブックに反映させていこう



ポリシーブック作成・活用の流れ



ポリシーブック作成や意見交換プロセスが組織強化や活性化につながる

目次

I. ポリシーブック策定にあたって

II. 若手農業者が抱える課題と行動目標について

1-1. 農業所得の向上対策について（販売）

1-2. 農業所得の向上対策について（コスト）

1-3. 農業所得の向上対策について（セーフティネット）

2. 担い手対策について

3. 消費税増税後の対応について

4. 食と農の理解促進ならびに千産千消の取り組みについて

5. 畜産・酪農対策について

6. 都市農業対策について

7. 鳥獣被害対策及び外来生物対策について

I. ポリシーブック策定にあたって

本県では、平成24年12月にポリシーブックを策定し、自らの課題解決に向けた行動目標の整理と政策提案に活用してきましたが、様々な課題を盛り込んでおり、何を一番に伝えたいのかがわかりづらいという課題をふまえ、ポリシーブックを抜本的に改善するため、平成30年度にポリシーブック検討委員会を設立し、継続事業として約2年の歳月を経て、新たなポリシーブックを完成することができました。

新たなポリシーブックを作成する上での重点事項は、「見やすく」、「わかりやすく」です。そこで、短い言葉で伝わるように書き換えました。また、ポリシーブックは自らの行動目標であるとともに、政策要請のツールでもあることから、議員の方など要請先に伝わりやすいよう、千葉県地図を使い、どの地域が強く要望しているのか一目でわかるように工夫しました。

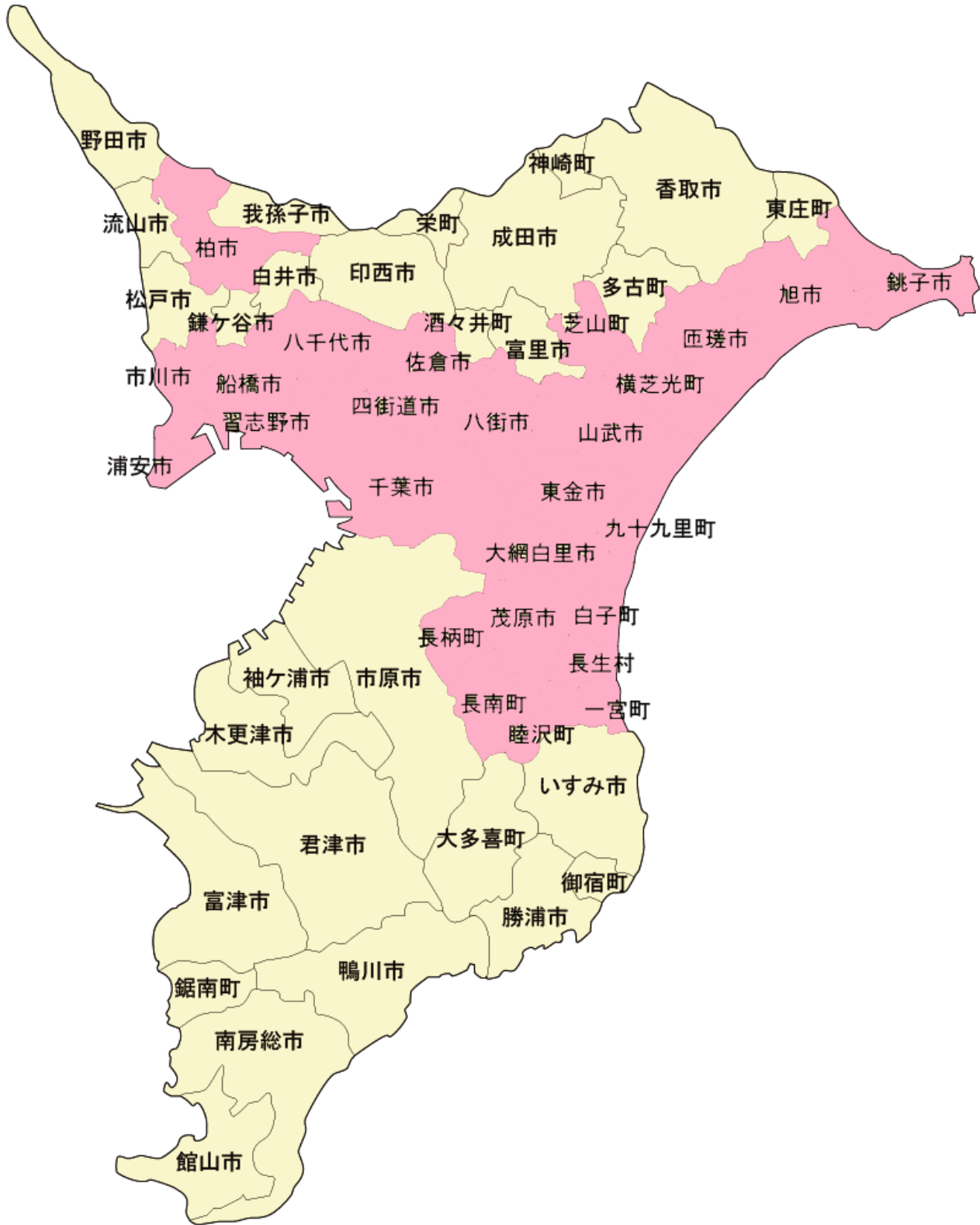
構成は、まず理想を掲げ目指すべき方向性・目標を明確にしたうえで、現状・課題を明記し、自分たちが置かれている立場を確認しました。その状況を踏まえ、理想を実現するために私たち青年部員は何をしなければならないか、何をすることができるかを記載しました。あわせて、理想を実現するために行政やJAに依頼したいことを記載しました。

県域版ポリシーブックは単組版ポリシーブックを集約したものです。このため、単組版ポリシーブックを全単組で策定する取り組みも並行してすすめ、単組版から課題等を抽出しました。県域版のみならず単組版も全加盟組織が保有しているため、より具体的な、地域実態に即した「青年部として取り組むこと」「行政やJAに依頼したいこと」を明確化しております。これらを用いて課題解決をすすめていくことにより、今後の若手農業者を取り巻く環境が向上することを期待しております。

令和元年10月

千葉県農協青年部協議会





千葉県内JA数・・・・・・・・・・・・・・・・・・19JA
 千葉県農協青年部協議会加盟数・・・・6単組
 ※ピンク色で塗られている部分が加盟組織に該当

Ⅱ. 若手農業者が抱える課題と行動目標について

1-1. 農業所得の向上対策について（販売）

○ 理想

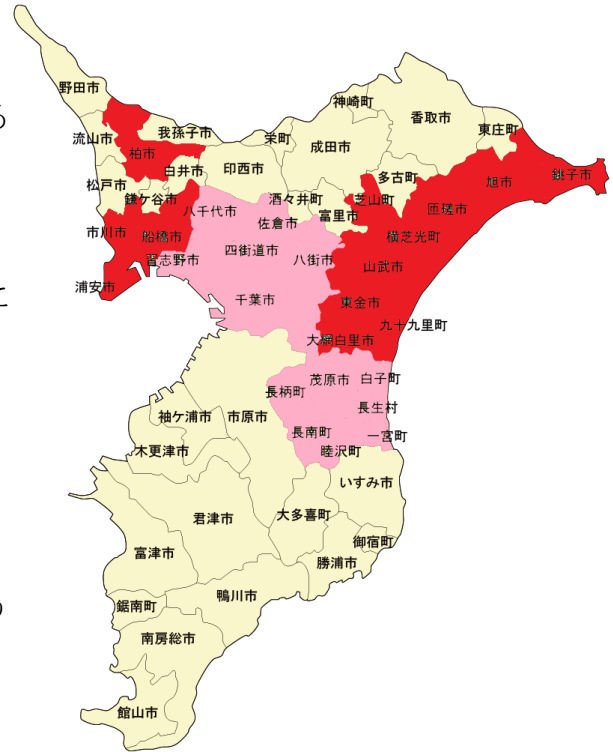
- ・災害に負けず、安定した所得を確立する
- ・コストに見合った生産者手取りを確保する

○ 現状・課題

- ・生産にかかるコストが上昇しても、価格に転嫁することが十分にできない

○ 我々青年部が取り組むこと

- ・コストに見合った販売価格となるよう、様々な場面で働きかける
- ・価格転嫁に向けたPR活動を積極的に行う



- ↑ ・強く要望している地域（赤）
 ・それ以外の加盟組織（ピンク）

○ 行政・JAに取り組んで欲しいこと（行政に依頼：🏛️、JAに依頼：🟡）

要望内容	要望した相手	最初に要望した年
🏛️ 市場・小売価格が生産コストに見合った価格となるよう、市場・小売などを監視・指導して欲しい		
🏛️ 🟡 価格転嫁や農産物の価値に関するPR活動に積極的に取り組んで欲しい		
🟡 価格交渉をさらに強化するよう尽力して欲しい		
🟡 契約・直接取引・加工など、コストに見合った取引先を紹介して欲しい		

1-2. 農業所得の向上対策について（コスト）

○ 理想

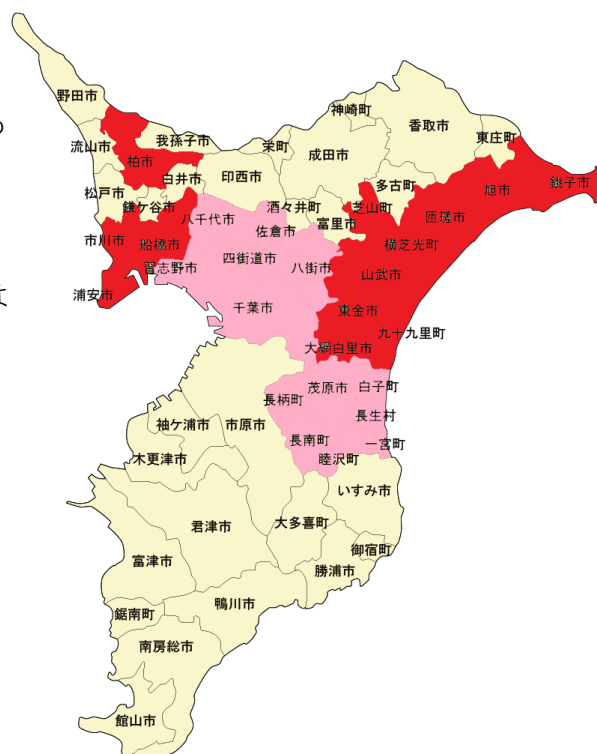
- ・災害に負けず、安定した所得を確立する
- ・コストに見合った生産者手取りを確保する

○ 現状・課題

- ・生産コスト（燃料・資材・人件費など）は上昇している

○ 我々青年部が取り組むこと

- ・低コスト化の勉強会を開催し、自らの経営を見直す機会を増やす
- ・土壌診断を行い、適期・適量施肥を遵守する
- ・共同購入を積極的に活用し、スケールメリットを最大化する



- ↑・強く要望している地域（赤）
- ・それ以外の加盟組織（ピンク）

○ 行政・JAに取り組んで欲しいこと（行政に依頼：🏛️、JAに依頼：🇯🇵）

要望内容	要望した相手	最初に要望した年
🏛️ 価格転嫁できなかった場合、生産コスト上昇にかかる支援が欲しい		
🏛️ 補助事業（ハード事業）の増額・要件緩和をして欲しい		
🇯🇵 低コスト化の取り組みについて、情報提供をさらに強化して欲しい		
🇯🇵 レンタル農機を拡充して欲しい		

1-3. 農業所得の向上対策について（セーフティネット）

○ 理想

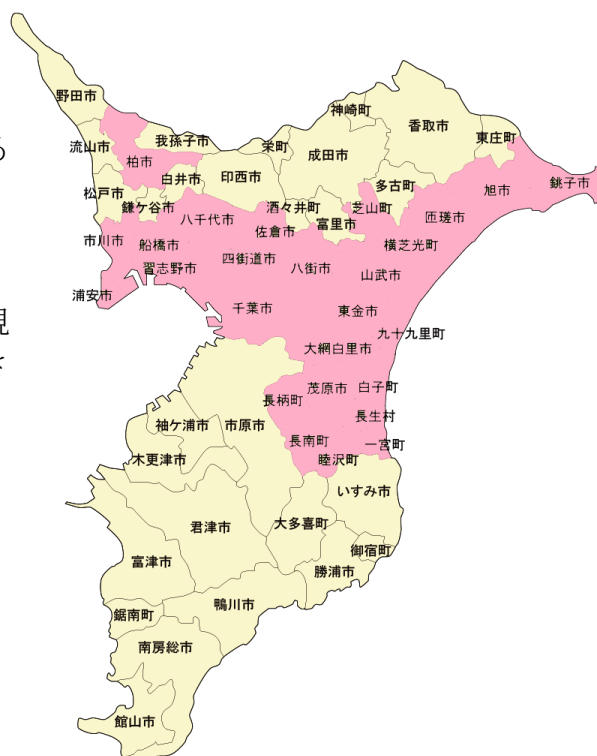
- ・災害に負けず、安定した所得を確立する
- ・コストに見合った生産者手取りを確保する

○ 現状・課題

- ・気象災害が多くなっており、特に中・小規模農家は被害を受けるとダメージが大きい

○ 我々青年部が取り組むこと

- ・制度（NOSA I、収入保険、経営安定対策など）に関する勉強会を開催する



- ↑
- ・強く要望している地域（赤）
 - ・それ以外の加盟組織（ピンク）

○ 行政・JAに取り組んで欲しいこと（行政に依頼：行、JAに依頼：J）

要望内容	要望した相手	最初に要望した年
行 災害発生時には、迅速かつ万全な対応をして欲しい		
行 再生産可能な経営安定対策を確保して欲しい		
J 様々な情報について、迅速に情報提供して欲しい		

2. 担い手対策について

○ 理想

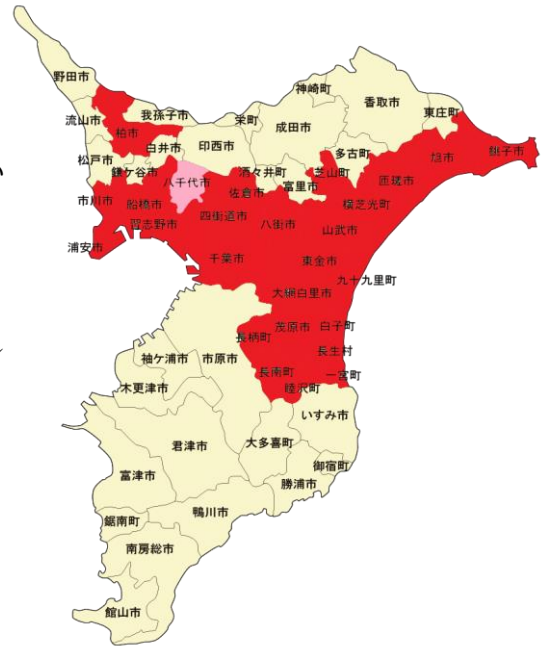
- ・自分の子どもが生き活きと農家を継いでいる
- ・新規就農者が地域に定着している
- ・周りに良きライバルがいて、切磋琢磨できている

○ 現状・課題

- ・将来の経営的不安から他産業への人手が流出している
- ・新規就農者が地域に密着しない
- ・交流の場が少ない
- ・盟友数が減少している

○ 我々青年部が取り組むこと

- ・世代交代を進め、自分流の経営を始める
- ・県全体・単組間・支部間での交流の場を設ける
- ・新規就農者に対し、青年部が良き相談相手となる
- ・盟友数拡大に向け、加入促進の働きかけを行う



- ↑ ・強く要望している地域 (赤)
 ・それ以外の加盟組織 (ピンク)

○ 行政・JAに取り組んで欲しいこと (行政に依頼：(行)、JAに依頼：(J))

要望内容	要望した相手	最初に要望した年
(行) 新規就農者や農業生産法人に就農した場合の助成措置を継続して欲しい		
(行) 事業承継しやすい施策・助成措置を拡充して欲しい		
(行) 青年部加入促進に向け、新規就農者等を我々に紹介をして欲しい		
(行)(J) 婚活イベントを開催して欲しい		
(行)(J) 若手経営者や新規就農者への技術・経営のサポートをして欲しい		
(J) 盟友数拡大に向けて、加入促進の働きかけを協力して行って欲しい		

3. 消費税増税後の対応について

○ 理想

- ・増税分を販売価格に転嫁すること

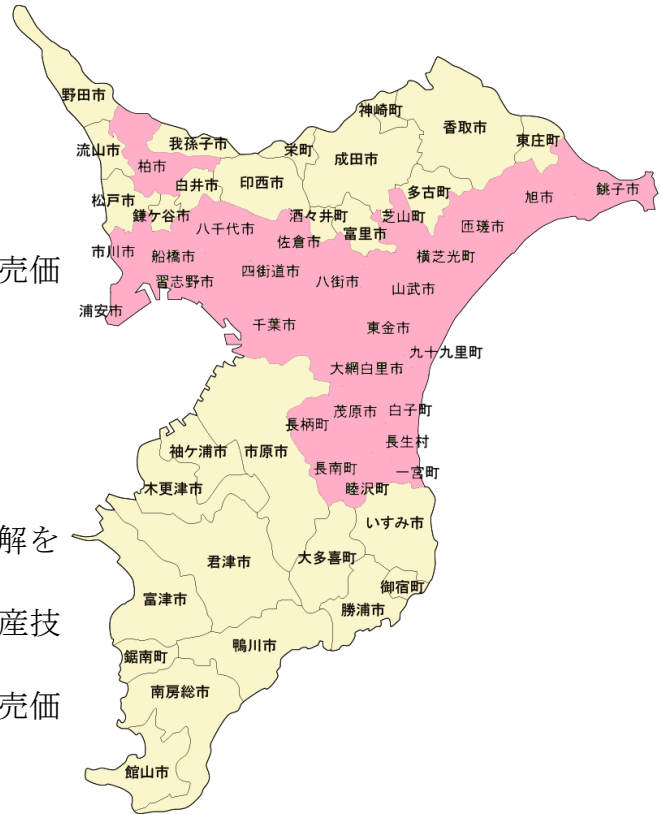
○ 現状・課題

- ・農産物価格が安価である中、増税分を販売価格に転嫁することが難しい

○ 我々青年部が取り組むこと

- ・軽減税率やインボイス方式に対する理解を深める
- ・生産コスト削減に向け、効率性のある生産技術の向上に努める
- ・自分たちの取引先に対して、増税分を販売価格に反映できるように交渉する

※1-1 (販売) の取り組みと連動して取り組む



↑・強く要望している地域 (赤)
 ・それ以外の加盟組織 (ピンク)

○ 行政・JAに取り組んで欲しいこと (行政に依頼：行、JAに依頼：J)

要望内容	要望した相手	最初に要望した年
行 事業者向け制度の紹介・PRを行って欲しい		
行 軽減税率やインボイス制度、簡易課税制度等に対する勉強会の開催など、農業者に使いやすい制度紹介・PRを行って欲しい		
J 仕入れ税額に係る還付制度の研修会を実施して欲しい		

4. 食と農の理解促進ならびに地産地消の取り組みについて

○ 理想

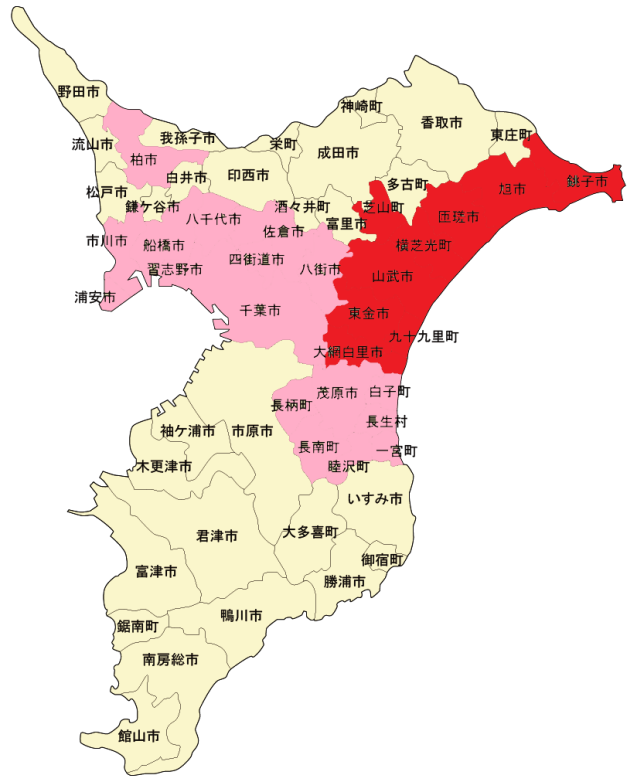
- ・ 地元の農畜産物を積極的に購入している
- ・ 農業に関する知識や理解が深まっている

○ 現状・課題

- ・ 農業に関する知識、理解が不足している
- ・ 子ども向け農業体験に偏っている

○ 我々青年部が取り組むこと

- ・ 食農教育、イベントに積極的に参画する



↑ ・ 強く要望している地域 (赤)
 ・ それ以外の加盟組織 (ピンク)

○ 行政・JAに取り組んで欲しいこと (行政に依頼：行、JAに依頼：J)

要望内容	要望した相手	最初に要望した年
行 J 行政とJAが連携し、直売所やスーパーと連携した県内での消費拡大の取り組みを行って欲しい		
行 J 行政とJAが連携し、新たなイベントを考案・開催して欲しい		
行 J 行政とJAが連携し、食育活動をさらに推進して欲しい		

5. 畜産・酪農対策について

○ 理想

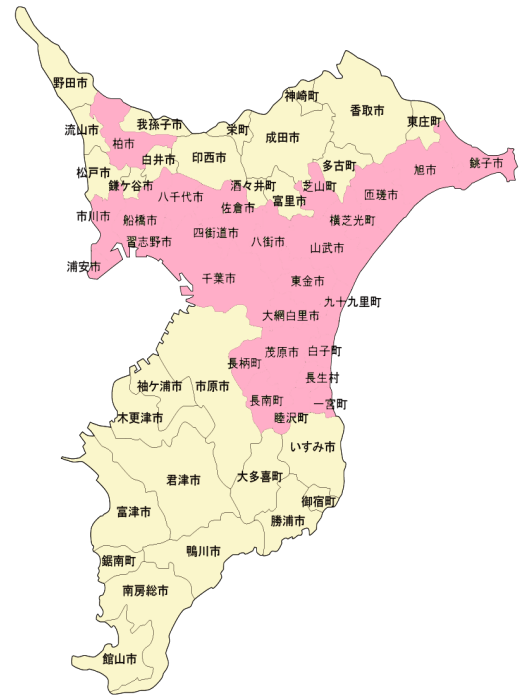
- ・国産自給率が向上している
- ・病害獣・伝染病に対する対応が迅速に行われている

○ 現状・課題

- ・飼養頭数は変わらないが農家戸数が減少している
- ・経営安定対策の財源不足が見込まれる
- ・家畜防疫に関するリスクが増大している

○ 我々青年部が取り組むこと

- ・自給飼料の増産や未利用資源を活用し、コスト削減に努める
- ・家畜防疫に関するリスク低減対策をとる



- ↑・強く要望している地域 (赤)
- ・それ以外の加盟組織 (ピンク)

○ 行政・JAに取り組んで欲しいこと (行政に依頼：行、JAに依頼：J)

要望内容	要望した相手	最初に要望した年
行 国内畜産物の輸出強化に向けた取り組みを強化して欲しい		
行 硝酸性窒素の暫定基準値の適用を延長して欲しい		
行 家畜防疫に関する水際対策(国内への持ち込み、農場への持ち込み対策)を強化して欲しい		
行 耕種農家への自給飼料(飼料用米など)の生産依頼・マッチングを積極的に行って欲しい		
J 病害獣に害する勉強会を開催して欲しい		

6. 都市農業対策について

○ 理想

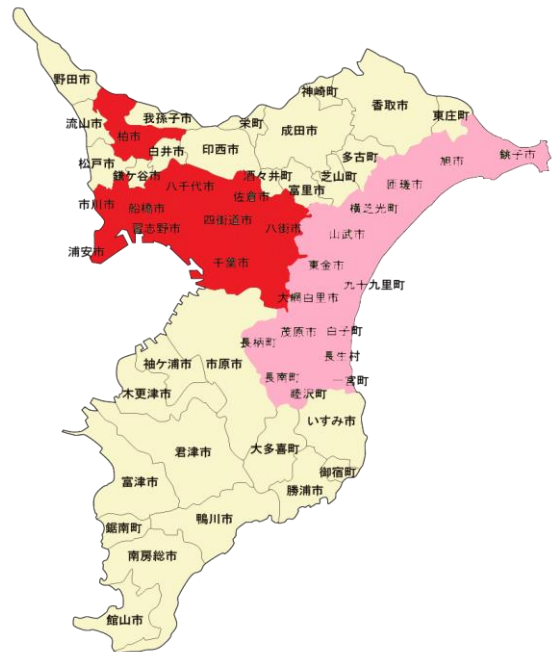
- ・都市における農業経営が維持できている
- ・都市部住民の農家に対する理解度が向上している

○ 現状・課題

- ・固定資産税や相続税等の税負担が重い
- ・騒音・臭い・薬剤散布の問題から地域住民とトラブルになるケースが多い
- ・相続により農地面積が減少している
- ・小規模のため農業収入確保が困難

○ 我々青年部が取り組むこと

- ・防災用地としての必要性など、農地のあるメリットを訴える
- ・地域住民に対する地産地消を推進する
- ・非常時の食糧・お手洗いの確保など、災害時の活用をアピールする



- ↑・強く要望している地域 (赤)
- ・それ以外の加盟組織 (ピンク)

○ 行政・JAに取り組んで欲しいこと (行政に依頼：行、JAに依頼：J)

要望内容	要望した相手	最初に要望した年
行 現行の相続税納税猶予制度を堅持して欲しい		
行 都市農業者が所有している不動産相続税を猶予して欲しい		
行 固定資産税を減額して欲しい		
行 市町村レベルでの生産緑地制度に対する認知を統一して欲しい		
行 防犯カメラの設置等、農産物の窃盗防止対策を講じて欲しい		
J 都市農業に関する法律(貸借円滑化法等)・制度に関する迅速な情報提供をして欲しい		

7. 鳥獣被害対策及び外来生物対策について

○ 理想

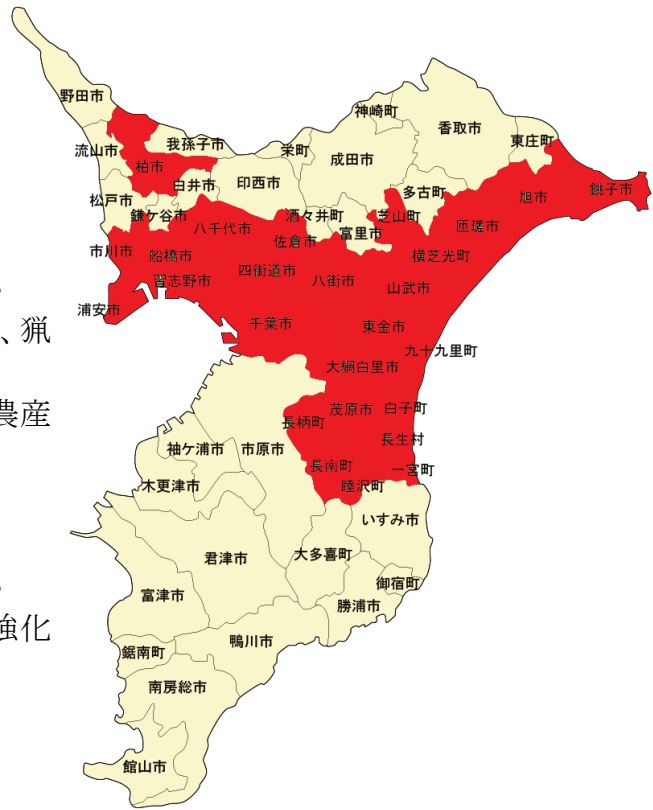
- ・鳥獣被害が撲滅されている
- ・外来生物が撲滅されている
- ・生態系バランスが健状化されている

○ 現状・課題

- ・被害が表面化しなければ対策を講じない
- ・狩猟銃免許の取得要件や金銭負担が重く、猟友会との接点もない
- ・鳥、イノシシ、ジャンボタニシ等による農産物被害により、経営に影響が生じている

○ 我々青年部が取り組むこと

- ・集落内に鳥獣の餌になるものを残さない
- ・鳥獣害に対する知識を深め自己防衛を強化する
- ・箱ワナ資格制度についてPR・推奨する
- ・農地の清掃に努める



↑ ・強く要望している地域 (赤)
 ・それ以外の加盟組織 (ピンク)

○ 行政・JAに取り組んで欲しいこと (行政に依頼：🏛️、JAに依頼：🟡)

要望内容	要望した相手	最初に要望した年
🏛️ 免許制度を簡易化して欲しい		
🏛️ 電気柵、箱わな等の助成措置及びJAの保有数を増加させて欲しい		
🏛️ 山林の清掃と環境整備をして欲しい		

8. その他（JA・行政依頼事項）

※単組要望のうち、地域性が強いもの。Ⓐは行政への依頼事項、ⓂはJAへの依頼事項

<理解促進対策>

○PR・教育・消費拡大・イベント

- ・ Ⓐ 「国産」の認知度上昇、輸出環境の整備をして欲しい
- ・ Ⓜ TV番組等メディアを使い、米や野菜が健康に繋がるPR活動を実施して欲しい

<個別対策>

① 政策全般

- ・ Ⓐ 農業政策が短期的に変更されるため、説明会等の勉強の場を設けて欲しい
- ・ Ⓐ 農業分野の補助事業に係る財源を安定的に確保して欲しい
- ・ Ⓐ 補助金利用者の対象者拡大、提出書類を簡易化して欲しい

② 経営安定対策全般

- ・ Ⓐ 生産コストを考慮した販売価格でなければ、農業経営は成り立たないため、再生産価格を補償して欲しい
- ・ Ⓜ 補助事業に関して情報が行き渡るよう、情報通信網を構築して欲しい

②-1 米政策

- ・ Ⓐ 生産調整が廃止されたなかでも、稲作農家経営が継続できるような農業政策を講じて欲しい
- ・ Ⓜ 過剰米の販売先を確保して欲しい
- ・ Ⓐ 米以外でも収益を上げられる作物の指導と対策を検討して欲しい

②-2 野菜政策

- ・ Ⓐ 作業効率を向上するため、畑の灌水整備設置等に対する事業を講じて欲しい

②-1 安全・安心（農薬）対策

- ・ Ⓜ 安全・安心、環境の価値が守れるような営農指導をして欲しい

③-2 安全・安心（GAP・HACCP）対策

- ・ Ⓜ 集出荷施設等老朽化が進行しているため、建替え等環境改善して欲しい

<人材（職員）育成対策>

①技術指導・補助事業等に強い人材育成対策

- ・ **J** 職員の熟練者確保のため、職場内研修を実施し、指導内容を平準化して欲しい
- ・ **J** G A P 取得やそれに伴う経営改善提案等の専門指導ができるよう、研修を実施して欲しい
- ・ **J** 補助事業に関して相談できる人を育成して欲しい

<その他対策>

- ・ **行** 農道の整備や補強、草木の除去等、環境整備を強化して欲しい
- ・ **行** 野焼き、不法投棄の問題対策として、リサイクル料に対しての助成金等を講じて欲しい
- ・ **J** 農業に関連する融資を柔軟に対応してほしい
- ・ **J** 通常活動のほか、青年部で研修や視察を行うための助成金を措置して欲しい
- ・ **J** 青年部のイベント等で J A の遊休店舗を利用させて欲しい

千葉県農協青年部協議会ポリシーブックの取り組み経過

年度	月	活動内容
平成24年	12月	県青協版ポリシーブック策定
平成25年	2月	県選出国会議員への要請活動
	10月	県議会議員との意見交換会
〃	〃	県選出国会議員への要請活動
平成26年	11月	県選出国会議員との意見交換会
平成27年	4月	県農林水産部との意見交換会
〃	11月	県選出国会議員への要請活動
平成28年	11月	県選出国会議員への要請活動
〃	12月	県議会議員との意見交換会
平成29年	6月	県農林水産部との意見交換会
〃	〃	EU・EPAにかかる政府・与党への要請活動
〃	11月	県選出国会議員への要請活動
平成30年	5月	千葉の農政を語る会
〃	10月	県選出国会議員への要請活動
〃	10月	第一回ポリシーブック検討委員会
平成31年	1月	第二回ポリシーブック検討委員会
〃	3月	第三回ポリシーブック検討委員会
令和元年	5月	県農林水産部との意見交換会
〃	6月	第四回ポリシーブック検討委員会
〃	8月	第五回ポリシーブック検討委員会
〃	9月	第六回ポリシーブック検討委員会